

樋口 均教授の年譜と主要著作目録

【略歴】

- 1948年 7 月 兵庫県に生れる
1976年 3 月 東京教育大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学
1976年 4 月 信州大学教養部助手（講師，助教授を経る）
1992年 4 月 信州大学教養部教授
1995年 4 月 信州大学経済学部教授（～現在）
1998年 5 月 フランス国立数理経済計画予測研究所（CEPREMAP）客員研究員（～1999年 2 月）
2003年 3 月 長野県最低賃金審議会委員（2005年同会長～現在）
2005年 6 月 信州大学評議員（～2009年 3 月）
2005年12月 経済学博士（筑波大学）

【主要研究業績】

<著書>

- 『アメリカ経済とグローバル化』学文社，2013年 [渋谷博史・埴武郎と共編]
『グローバル化と福祉国家と地域』学文社，2010年 [渋谷博史・櫻井潤と共編]
『地域経済と福祉』学文社，2006年 [渋谷博史・立岩寿一と共編]
『アメリカの福祉国家システム』東京大学出版会，2003年 [渋谷博史・渡瀬義男と共編]
『財政国際化トレンド——世界経済の構造変化と日本の財政政策』学文社，1999年 [単著]
『世界経済の読み方』お茶の水書房，1997年 [共著，降旗節雄編]
『現代世界経済』東京大学出版会，1987年 [共著，大島清編]
『財政投融资』教育社，1978年 [単著]
『総説日本経済 2 財政金融』東京大学出版会，1978年 [共著，大島清監修]

<論文> [2000年～2014年]

- 「ディリジスムからの脱却——フランス」(持田信樹・今井勝人編『ソブリン危機と福祉国家財政』東京大学出版会，2014年)
「アメリカ航空規制緩和の国内のおよび国際的インパクト」(渋谷博史編『アメリカ・モデルの企業と金融』昭和堂，2011年)
「福祉国家の再編——政策と財政」(SGCIM 編『現代経済の解説』お茶の水書房，2010年)
「モンディアリザシオンとフランス福祉国家の再編——アメリカ・モデルへの接近と独自性——」(渋谷博史・中浜隆編『アメリカ・モデルの福祉国家Ⅱ』昭和堂，2010年)
「グローバリゼーションと国民国家——福祉国家再編論争によせて——」(経済理論学会編『季刊経済理論』第45巻第4号，2009年)
「アメリカの財政赤字とグローバル・インバランス」(今井勝人編『グローバリゼーションの進展と福祉国家財政の国際比較研究』平成16～18年度科学研究費補助金・基盤研究 (B) 研究成果報告書<課題番号16330061>，2007年)
「アメリカ型福祉国家」(渋谷博史・中浜隆編『アメリカの財政と福祉国家 3 アメリカの年金と医

療』日本経済評論社, 2006年) [渋谷博史と共著]

“Globalization and the Nation-State: Concerning the Transformation from the Welfare State to the Competition State,” *Economic Review*, Faculty of Economics, Shinshu University, No.52, 2005 (『信州大学経済学論集』第52号)

“International Aspects of Welfare State Finance under Pax Americana,” *Journal of Economics*, vol.43, no.3-4, 2003 (『経済学論纂』(中央大学) 第43巻第3-4合併号)

「グローバル化と国民国家——福祉国家の競争国家への転型説の検討を中心に」(『経済理論学会年報第40集』青木書店, 2003年)

“The Impact of Burden-Sharing on Japan: International Fiscal Policy Responses to the Decline of Pax Americana,” in Hiroshi Shibuya, Masato Maruyama and Masamitsu Yasaka (eds.) *Japanese Economy and Society under Pax-Americana*, University of Tokyo Press, 2002

“Reconsidering Fiscal Policy of the Welfare State under Pax Americana,” Paper presented for the ISS international symposium “The Market Logic in Welfare State and America’s Impacts”, Institute of Social Science, University of Tokyo, 27 July 2002

「パクス・アメリカナの再編とバードン・シェアリング——日本財政への国際的インパクト」(渋谷博史・内山昭・立岩寿一編『福祉国家システムの構造変化——日米における再編と国際的枠組み』東京大学出版会, 2001年)

「アメリカ財政黒字化の原因と世界的インパクト」(現代日本経済研究会編『日本経済の現状 2001年版』学文社, 2001年)

「積極財政の継続と財政危機」(現代日本経済研究会編『日本経済の現状 2000年版』学文社, 2000年)

<書評>

渋谷博史・根岸毅宏編『アメリカの分権と民間活用』(日本経済評論社, 2012年) [『國學院経済学』第61巻第2号, 2013年]

岡本英男『福祉国家の可能性』(東京大学出版会, 2007年) [『季刊経済理論』第45巻第2号, 2008年]

<翻訳>

ロベール・ボワイエ「フランス福祉国家」(渋谷博史編『福祉国家の市場論理とアメリカのインパクト』(『東京大学社会科学研究所研究シリーズ』No.7, 2003年) [内山昭・吉田健三・櫻井潤と共訳]

ロベール・ボワイエ「パクス・アメリカナの新段階」(渋谷博史・丸山真人・伊藤修編『市場化とアメリカのインパクト』東京大学出版会, 2001年) [単訳]